

利用者の受診支援に関するアンケート集計結果

豊岡市障害者自立支援協議会 せいかつ部会

調査の目的と背景

医療機関受診にかかる支援・人材不足解消の方策について検討するにあたり、現状把握のためのアンケート調査を行った。

【背景】

- ・医療機関受診に支援が必要な場合、家族が対応できない事が増えている。
- ・家族に代わって院内介助を行う支援サービスがない。
- ・受診同行は所要時間の見通しがつかないため、ヘルパー事業所としては対応が困難なことが多い（ヘルパーによる「通院等介助」「通院等乗降介助」は原則として自宅での受診準備から医療機関まで送るまでの支援のみを対象としており、院内の介助は認められていない）。
- ・現状はサービス事業所の支援員や相談支援事業所の相談員が対応せざるをえないことも少なくない。

調査対象と回答事業所

【調査対象期間】 2021年3月1日～5月31日

【調査対象事業所】

市内30法人（86事業所）

うち、24法人回答 回答率80%

【調査方法】

2021年6月7日、メールにてアンケート用紙を送付。

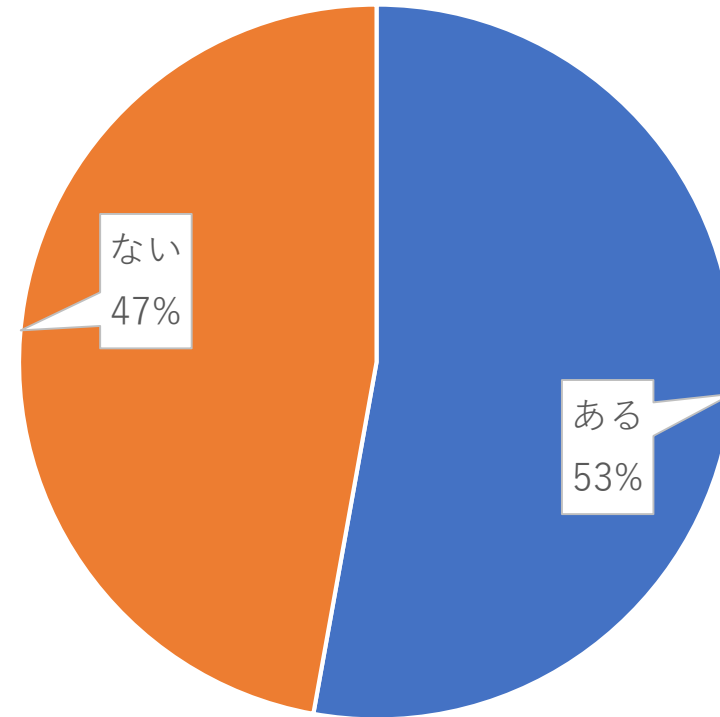
メール、ファックスで回答受け付け。

事業種別ごとの対象数と回答数

事業種別	対象数	回答数	回答率
居宅介護	12	9	75.0%
共同生活援助	9	7	77.8%
計画相談支援	10	10	100.0%
行動援護	1	1	100.0%
自立訓練（生活訓練）	1		0.0%
就労移行支援	1	1	100.0%
就労継続支援 A 型	3	2	66.7%
就労継続支援 B 型	17	10	58.8%
就労定着支援	1		0.0%
重度訪問介護	8	2	25.0%
生活介護	7	4	57.1%
短期入所	6		0.0%
地域活動支援センター	4	2	50.0%
同行援護	4	3	75.0%
移動支援	1	1	100.0%
その他（就ポツ）	1	1	100.0%
事業所数合計	86	53	61.6%

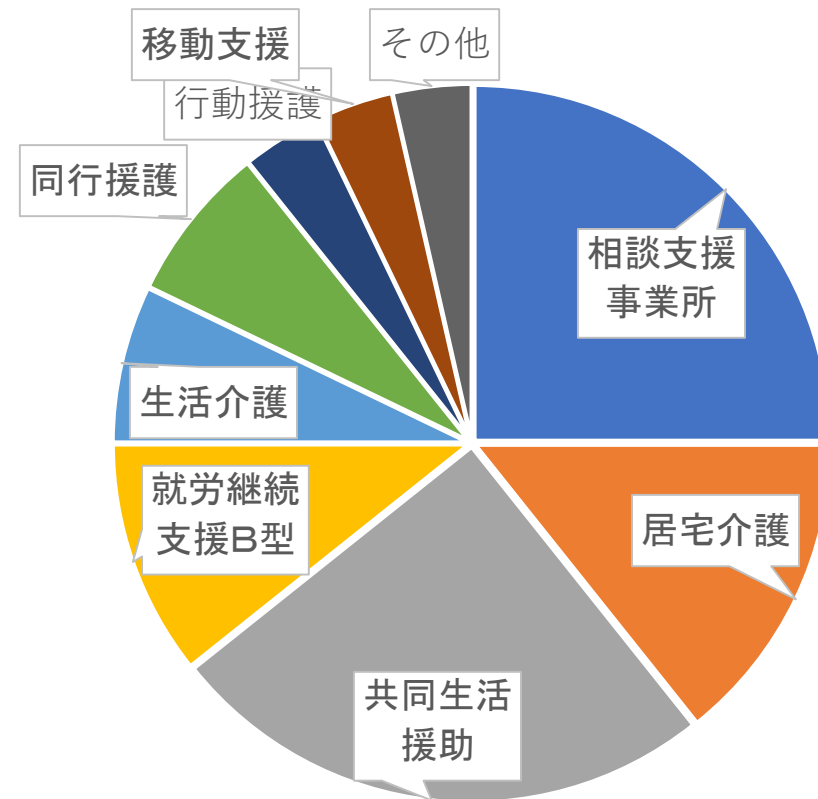
同行実績の有無

ある	28
ない	25
回答事業所数	53



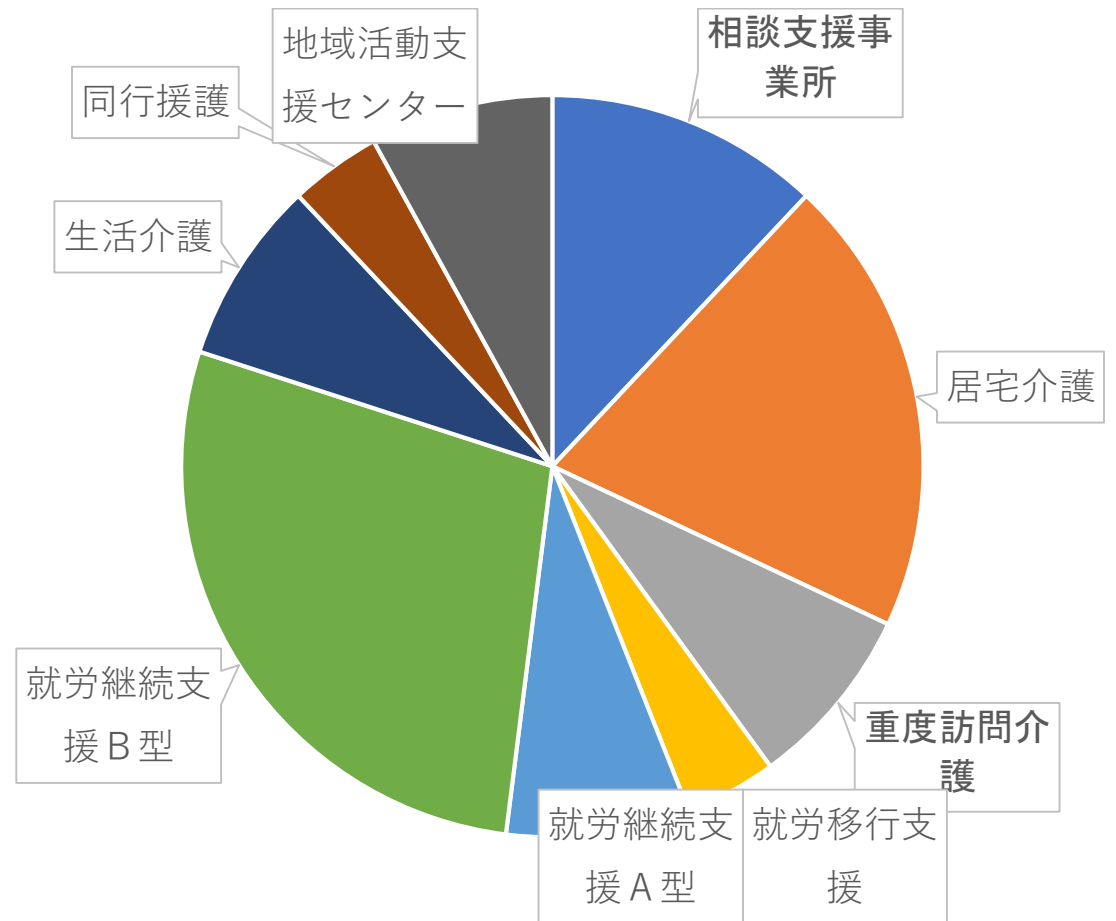
【同行実績あり】 × 事業種別

相談支援事業所	7	70.0%
居宅介護	4	44.4%
共同生活援助	7	100.0%
就労継続支援B型	3	30.0%
生活介護	2	50.0%
同行援護	2	66.7%
行動援護	1	100.0%
移動支援	1	100.0%
その他	1	100.0%
実績ありの事業所数	28	



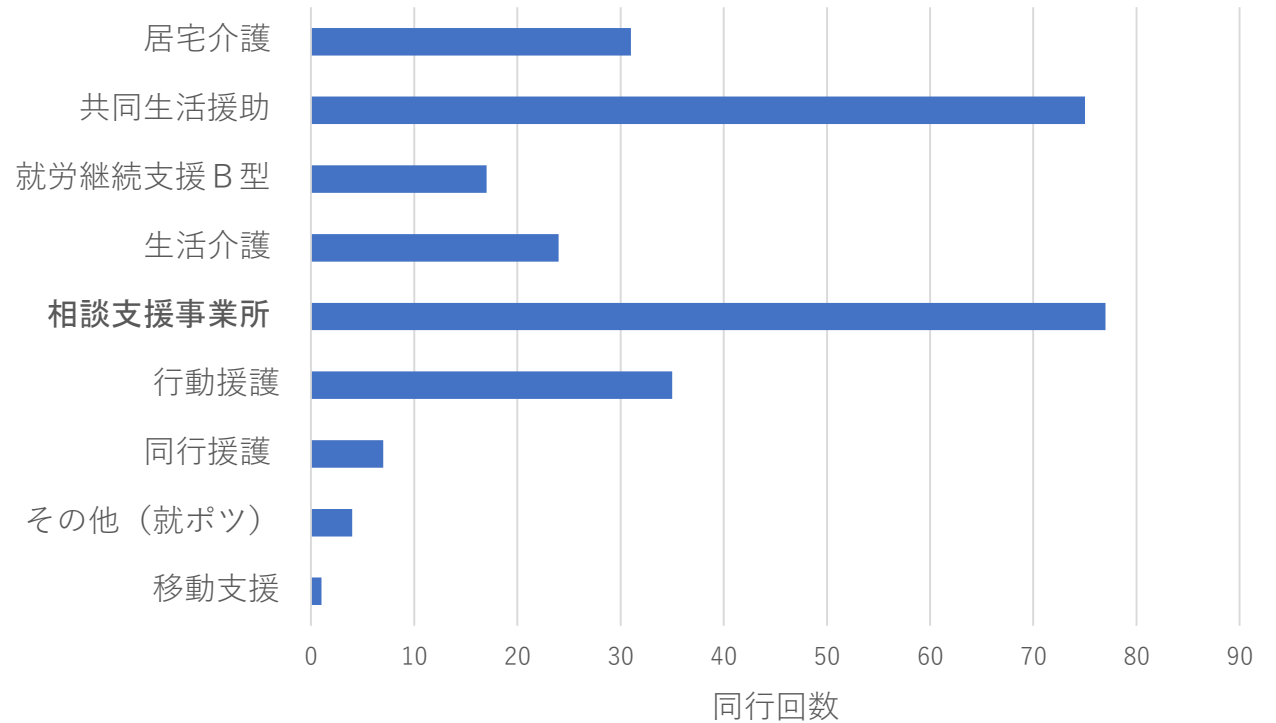
【同行実績なし】 × 事業種別

相談支援事業所	3	30.0%
居宅介護	5	55.6%
重度訪問介護	2	100.0%
就労移行支援	1	100.0%
就労継続支援 A 型	2	100.0%
就労継続支援 B 型	7	70.0%
生活介護	2	50.0%
同行援護	1	33.3%
地域活動支援センター	2	100.0%
実績なしの事業所数	25	



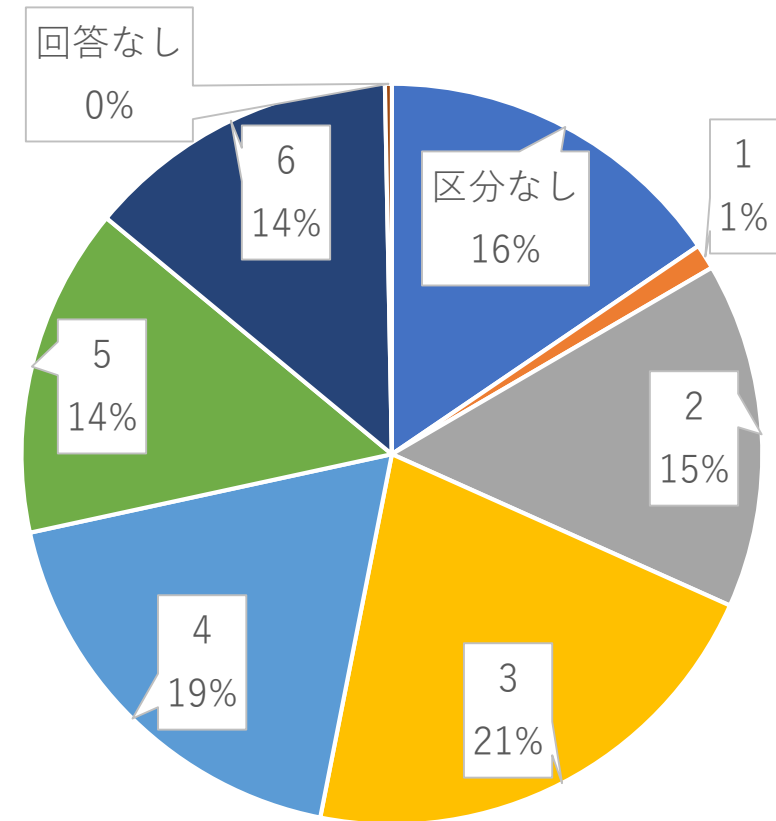
事業種別ごとの同行回数

居宅介護	31
共同生活援助	75
就労継続支援B型	17
生活介護	24
相談支援事業所	77
行動援助	35
同行援助	7
その他(就ポツ)	4
移動支援	1
総同行回数	271



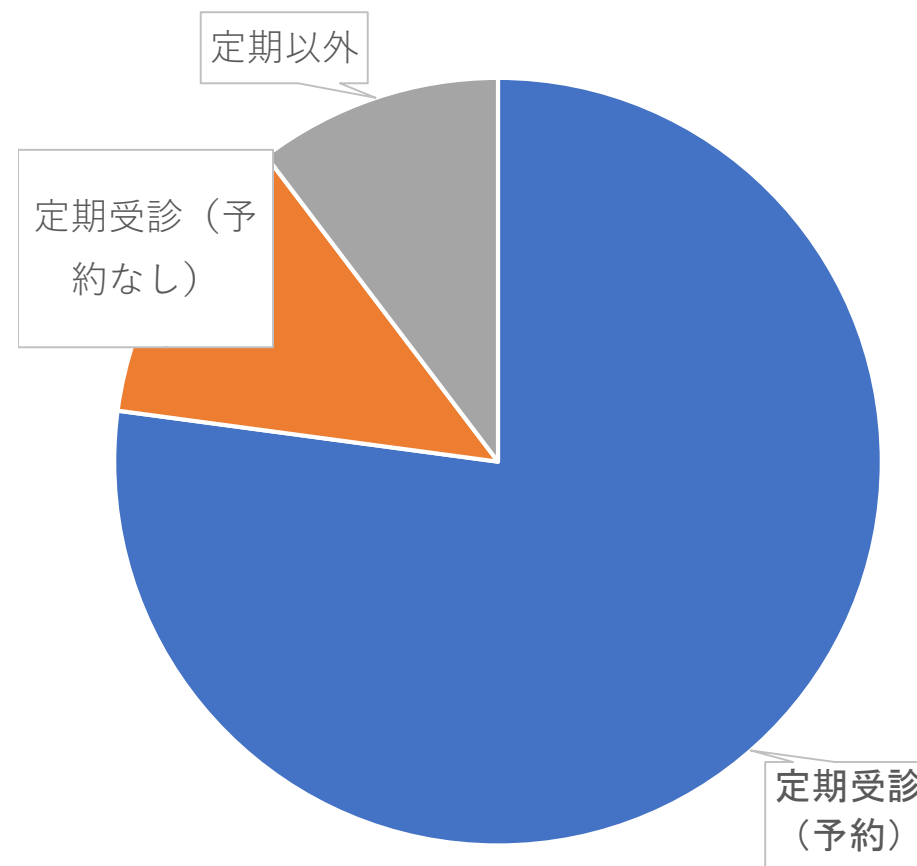
受診対象者の支援区分

	実数	割合
区分なし	42	15.5
1	3	1.1
2	41	15.1
3	58	21.4
4	50	18.5
5	39	14.4
6	37	13.7
回答なし	1	0.3
	271	100



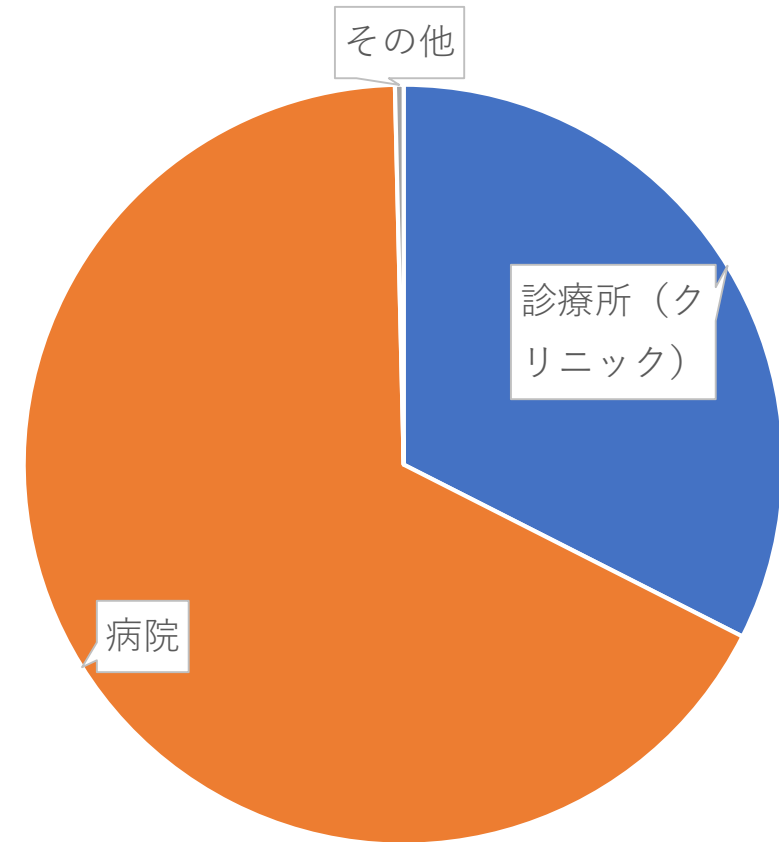
定期受診かそれ以外か

	実数	割合
定期受診(予約)	209	77.1
定期受診(予約なし)	34	12.5
定期以外	28	10.4
	271	100



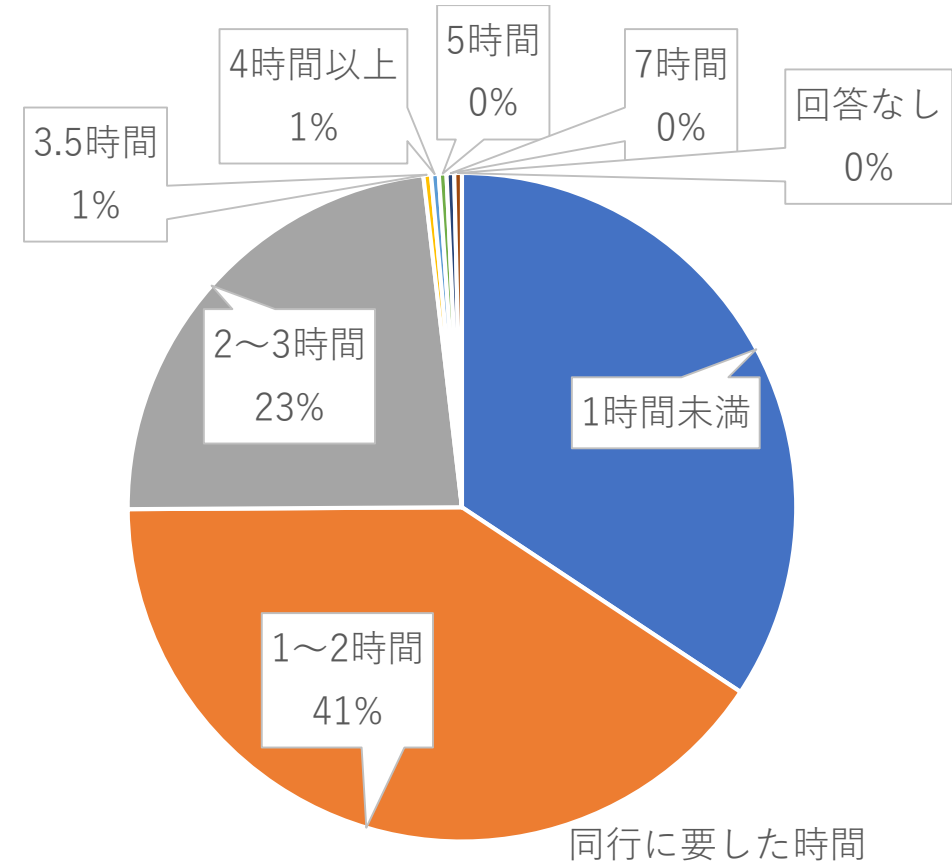
医療機関

	実数	割合
診療所（クリニック）	88	32.5
病院	182	67.1
その他	1	0.4
	271	100



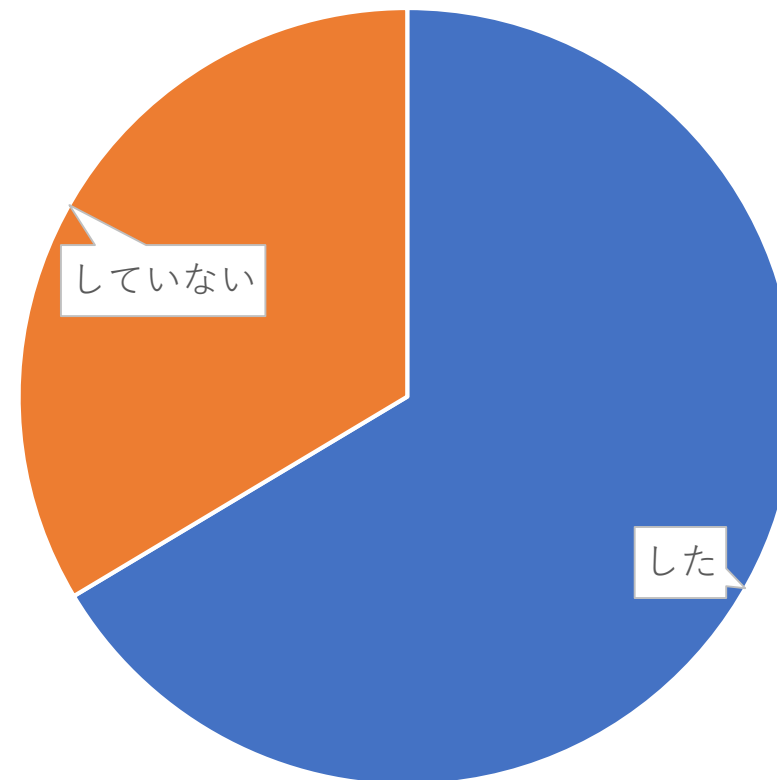
同行に要した時間

	実数	割合
1時間未満	93	34.3
1～2時間	110	40.5
2～3時間	63	23.2
3.5時間	1	0.4
4時間以上	1	0.4
5時間	1	0.4
7時間	1	0.4
回答なし	1	0.4
	271	100



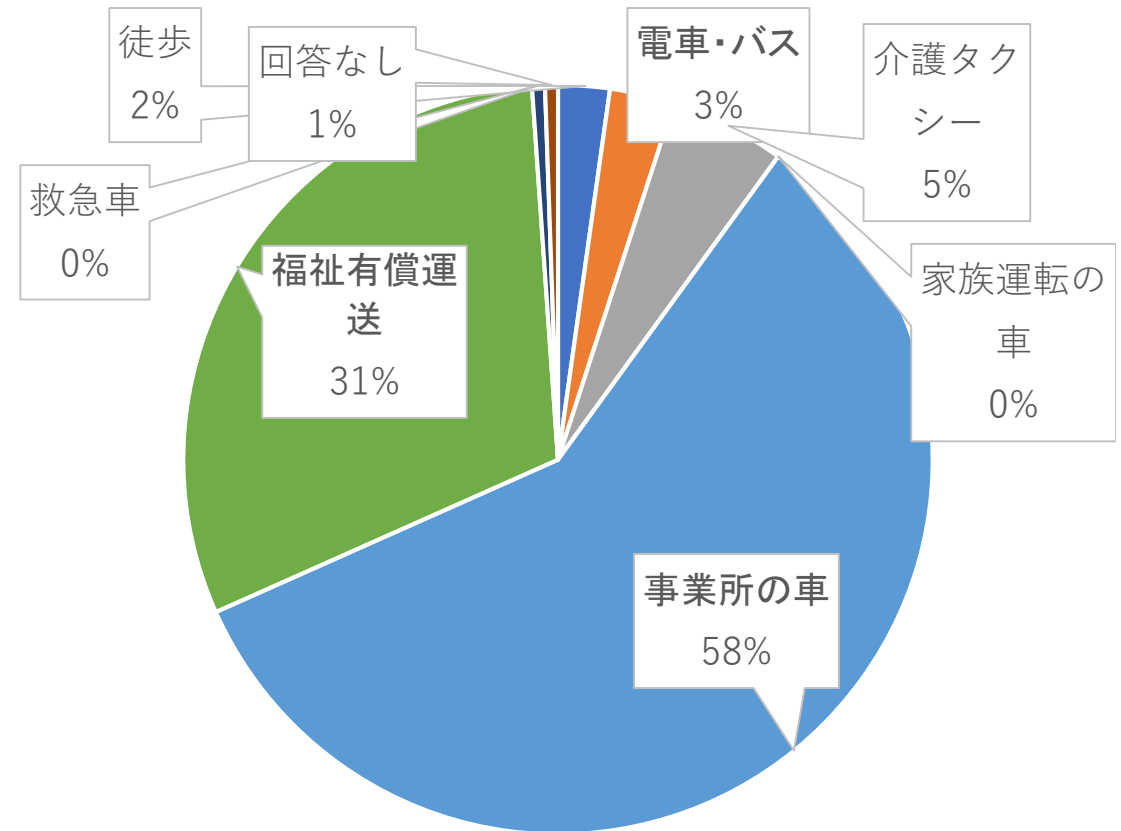
移動支援をしたか

	実数	割合
した	180	66.4
していない	91	33.6
	271	100



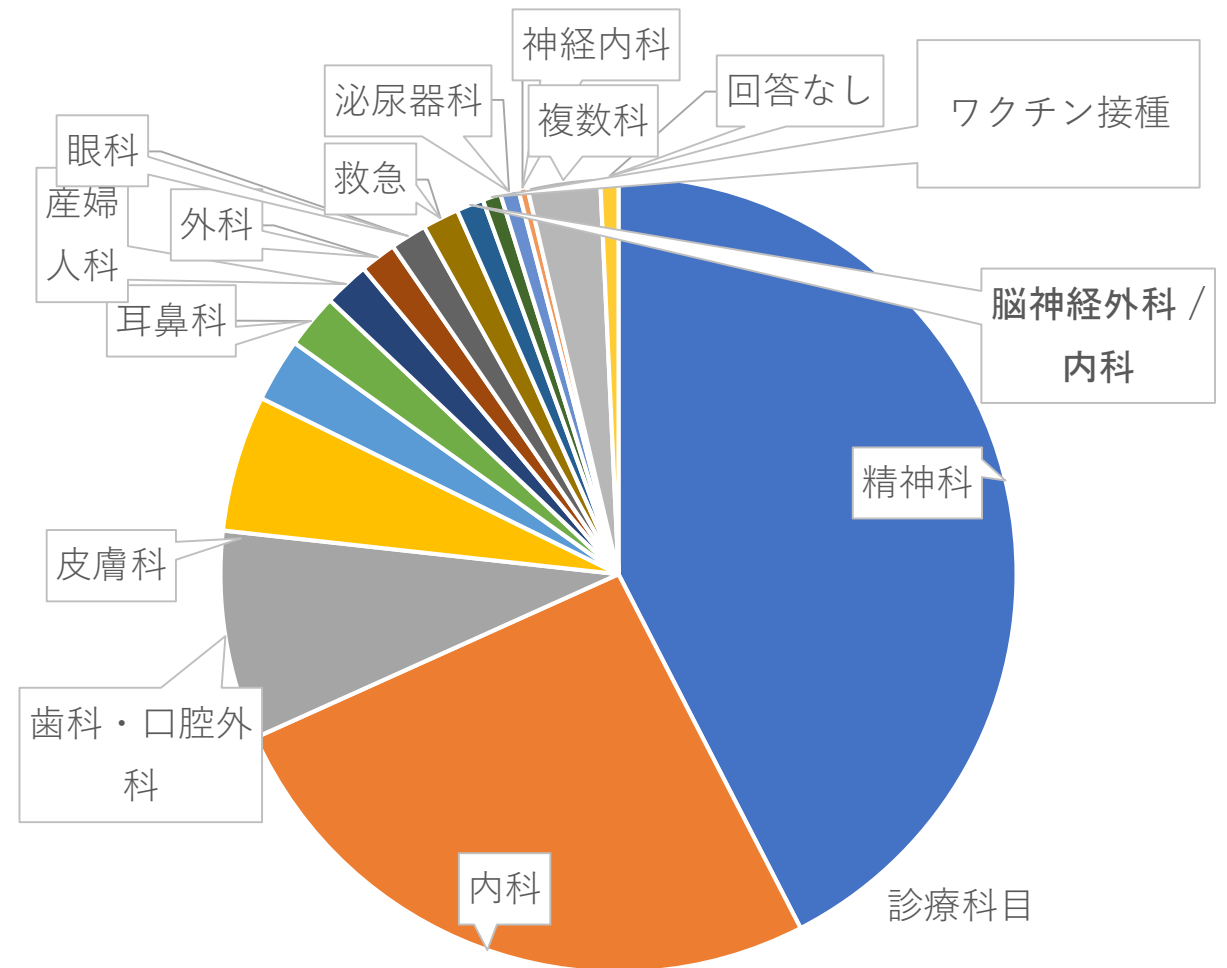
移動方法

	実数	割合
徒歩	4	2.2
電車・バス	5	2.8
介護タクシー	9	5
家族運転の車	0	0
事業所の車	105	58.3
福祉有償運送	55	30.5
救急車	1	0.6
回答なし	1	0.6
	180	100

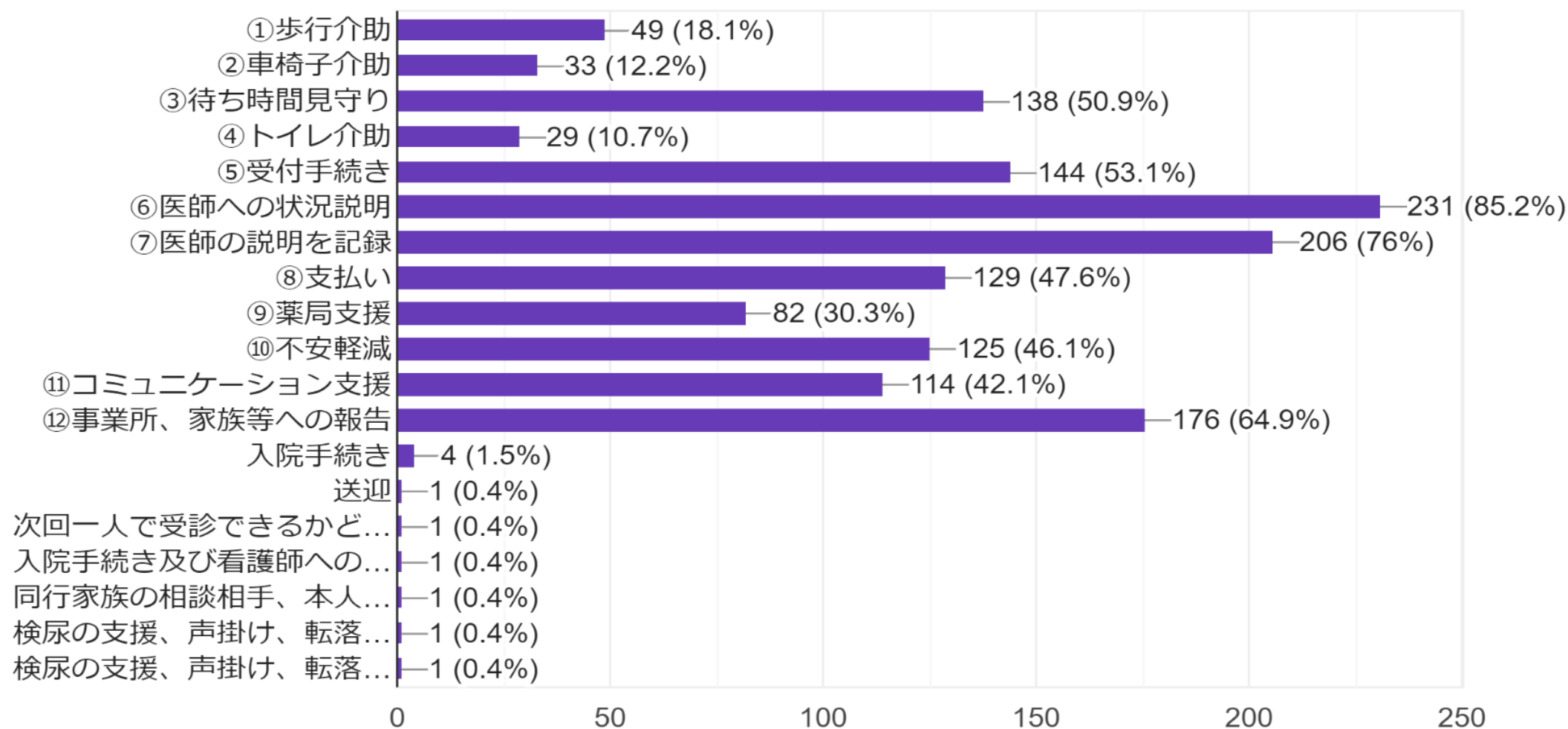


診療科目

	実数	割合
精神科	115	42.5
内科	70	25.8
歯科・口腔外科	23	8.5
皮膚科	15	5.5
整形外科	7	2.6
耳鼻科	6	2.2
産婦人科	5	1.8
外科	4	1.5
眼科	4	1.5
救急	4	1.5
脳神経外科 / 内科	3	1.1
ワクチン接種	2	0.7
泌尿器科	2	0.7
神経内科	1	0.4
複数科	8	3
回答なし	2	0.7
	271	100

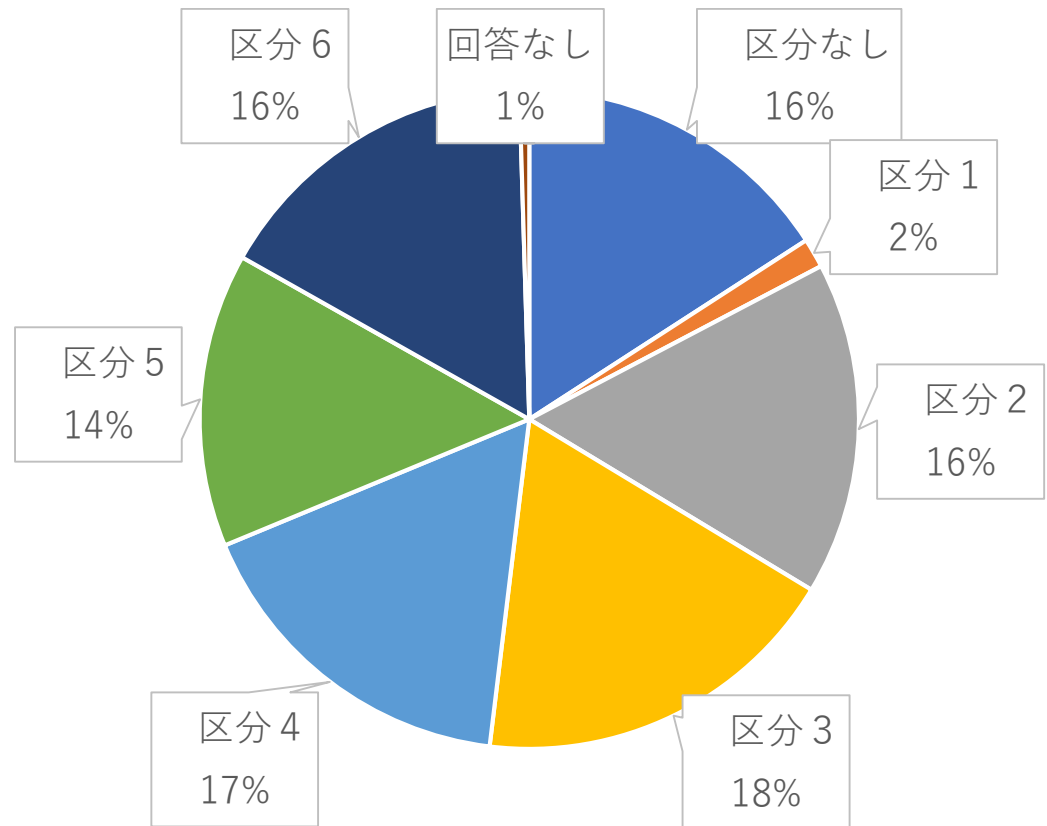


支援内容



定期受診者の支援区分

区分なし	33
区分1	3
区分2	34
区分3	38
区分4	35
区分5	30
区分6	34
回答なし	1



わかったこと

- 3 か月で271件の支援実績がある。年間1,000件程度と見られる。
- 9 割が定期受診である。
- 精神科が 4 割を占めている。
- 定期予約受診のほとんどは豊岡病院と見られる。
- 支援内容は、コミュニケーション支援と移動支援が主である。
- 歩行介助・トイレ介助などの直接身体介護はそれほど多くない。
- 相談支援事業所、共同生活援助の支援実績が多い。
- 支援区分はさまざまである。

課題

- 病院送迎は、事業所がボランティアで行っているため、事故時の責任の所在が明確でなく、リスクを抱えながら行われている。
- 有事のことを考えると注意喚起が必要であり、事業所が業務として位置付けられることが必要である。
- 市の移動支援制度は始点終点が自宅のため利用しにくい。
- 区分が低ければ支援者の負担が少ないとは限らない。

今後の取り組み

- 「体調報告票」を各事業所へ配布。
- 定期受診で状態が安定しているケースへの支援について、院内の付き添い支援を担えるガイドヘルパー的な人材を養成する。
 - ・ 病院送迎は事業所が担い、病院で同行者に引き継ぐ（安全確保）。
 - ・ 移動支援制度と同じガイドヘルパー講習で対応するのが現実的（ヘルパー資格保持者は講習不要）。

市への提案

- 通院の送迎部分については、市へ制度の運用や支援策の検討を要望する。
- 受診付き添い支援に係る加算の新設を国県に要望。
- 移動支援の制度の改善を市に要望。